

第 54 回全日本剣道選手権大会実施における 新型コロナウイルス感染防止対策基本方針

第 54 回全日本剣道選手権大会を開催するにあたり、同大会実行委員会では下記内容の新型コロナウイルス感染防止対策を講じさせていただきます。

大会中や大会後に発症者が出了場合、関係者の健康や感染拡大を防止するため「濃厚接触者」（感染確率が高く、役所から認定された場合は 14 日間の隔離を余儀なくされる）を作らないよう運営していく所存です。

※ 濃厚接触者とは（厚労省 HP より）

必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m 程度以内）で 15 分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

※ 感染予防策とは、三密の回避・マスク着用・消毒などがあたります。

大会実施要項の内容と共に、本基本方針をご理解の上、遵守いただきますようお願い申し上げます。また、本基本方針を遵守頂けない場合、他の参加者の安全を確保する等の観点から、当該大会への参加取り消しや途中退場を求めることがありますのでご注意ください。

なお、今後の感染状況や様々な情報を元に、基本方針を変更する場合があります。

1. 参加者が遵守すべき事項

- ① 参加者は 以下の事項に該当する場合、自主的に参加を見合わせる。
 - ・体調がよくない場合。（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった場合。
- ② 常時マスクを着用する。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ④ 競技中を除き、他の参加者、運営スタッフ等とのソーシャルディスタンス（以下 SD という。できるだけ 2m 以上）を確保する。
- ⑤ 大きな声で会話は控える。また発声を伴う応援等をしない。集団での応援は禁止。
- ⑥ 感染防止のために当該大会実行委員会が決めたその他の措置を遵守し、その指示に従う。
- ⑦ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、最寄りの保健所等に報告するとともに、実行委員会にも速やかに報告する。

2. 感染者、濃厚接触者、感染疑いのある者の競技会参加の可否 について

大会への参加予定者（出場選手、チーム関係者、役員など）に感染者が出た場合、当該感染者や所属チーム及び同感染者との濃厚接触者等への対応は以下の通りとする。

① 感染者への対応

大会開催日 2 週間前の時点、もしくはそれ以降に PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手、チームは参加を辞退する。または、実行委員会による出場権利の取り消しを行う。

② 濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場を認める。

③ 感染疑いの者への対応

大会開催日 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもあるため、原則当該感染疑い者は参加を辞退する。または、実行委員会による出場権利の取り消しを行う。

但し、次の 1) 及び 2) の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認める。

1) 感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している。

2) 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも 3 日が経過している。(解熱後および症状消失日を 0 として 3 日間)

※ 感染疑い症状とは

▼息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがあ
る場合。

▼重症化しやすい方（高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患 COPD 等の基礎疾患
がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）で、
発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

▼上記以外の方で「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合

3. 具体的な感染対策に係る対応について

① 2 週間前～当日対応

- ・各県地区剣道協会にて来場者の決定を行う。
- ・来場者（選手/観客/役員/審判/指導者/来賓）の大会 2 週間前 11 月 7 日（日）から体温チェックを行う。
- ・選手は大会 2 週間前より剣道の対外稽古（合同練習、他団体への出稽古など）を禁止する。感染予防策が不十分な他の武道・スポーツの練習参加も禁止します。
- ・出場選手全員が 2 週間前以降に最低 1 回の PCR 検査を実施し、大会前日までに陰性であることを確認する。また、各県地区剣道協会理事長は、出場選手全員が陰性であることを所定の書面にて大会前日までに提出する。（PCR 検査の詳細については、後述）
- ・審判、役員、来賓、各団体の指導者を含む選手以外の関係者など、来場者についても大会 2 週間前～大会前日までの期間に全員 PCR 検査を実施し、陰性であることを確認

する。

- ・来場者は大会当日の朝に個別に Google forms へ所定の質問に回答し送信する。実行委員会
はこれをもとに来場者全員の名簿（名前・連絡先）を作成し、入館チェックを行う（Google
アカウントなしでも OK の設定） ※詳細は改めてご連絡致します。

② 入館時の対応

- ・上記の 2 週間前対応を遵守した者のみ、入館を許可する。
- ・来場者名簿掲載者以外の飛び込み入館は不可とする。
- ・大会会場へ集合後に、会場係が来場者リストの確認、体温チェックと手指アルコール
消毒を実施する。その際、37.5℃以上または体調不良の者及びその濃厚接触者も入館
不可とする。
- ・選手及び観客は、大学単位でまとまり、大学毎に時間差を設けて入館する。

③ 会場内での対応

- ・選手は、マスクを常時着用とする（競技中、練習、観戦、コート整列時など含む）。
- ・開会式は簡易的に行い、出場選手は観客席から参加とする。
- ・閉会式は行わず、各コートでメダルを授与する。賞状については、後日郵送とする。
- ・各コートの結果は、競技終了後すみやかに会場内にアナウンスを行う他、大会ホーム
ページにてリアルタイムで結果の更新を行う。
- ・負けて試合がなくなった選手や団体は、大会の途中であっても帰宅を推奨する。
- ・審判、役員、指導者、観客はマスクを常時着用とする。
- ・1 階競技場へ入場は、役員、審判の他、実施している競技種目に出場する選手（団体実
戦競技監督も含む）のみとし、それ以外の者は入場禁止とする。
- ・応援は声援を禁止し、拍手のみとする。
- ・観客席の各地区着席エリアを設定し、エリア内の SD 確保を行う。
- ・会場内は、施設側の換気設備を稼働させるほか、主道場への出入口扉を全て開放し、常
時十分な換気を行うようにする。

④ 競技前後の対応

- ・選手待機場所の設定（競技前点呼時に各コートで詳細を説明）。
- ・試合後の選手の手指の消毒を実施する。
- ・競技終了ごとにコートの消毒清掃を実施する。

⑤ 競技中の対応

- ・選手の競技中のマスク着用を徹底する。
- ・競技中にマスクのズレや外れなどが生じないように選手は十分な事前確認や工夫を行
う。
- ・万が一、競技中にマスクずれが生じた場合は、自身で必ず直すこと。なお、マスク直し
が軽微であれば減点対象とはしないが、頻度や所作によっては、減点の対象とするた
め、基本はズレない工夫を行うこと。

- ・万が一、個人法形競技中にマスク外れが生じた場合は、その時点で構えたまま停止し、役員が予備マスクを装着してくれるまで演武中断すること。
- ・万が一、展開及び団体法形中にマスク外れが生じた場合は、気合は絶対に出さないこと。
- ・全ての競技において、気合いの発声は大きな声を控えること。但し、審判員は気合いについての評価は行わない。
- ・マスクの着用のため、実戦の競技時間を全種目 2 分とする。
- ・連戦インターバルは 2 分を基準とする。(3 連戦など、状況に応じてさらに延長する)
- ・次試合、次々試合の選手待機場所を設定し、役員(選手係等)と選手との接触をできる限り低減する。なお、選手係の選手呼び出しは必要最低限の範囲で実施する。
- ・礼法の際、発声する場合は必要最低限の音量とする。
- ・対戦後の握手は行わない。
- ・赤帯は不織布の帯を運営より配布し、個人持ちとして使用する。

⑥ 審判の対応

- ・審判は常時マスクを着用する。
- ・実戦時は電子ホイッスルを使用する。また、電子ホイッスルは審判同士で共有せず個人持ちとする。(※運営にて準備)
- ・法形時、判定の旗は個人持ちとし、審判同士で共有しない。(※運営にて準備)

⑦ 来場者規制の対応

- ・来場者数の制限は行わないが、各コートの競技状況はライブ配信を行うため、各団体で極力来場者数を絞るようにすること。
- ・**年齢 60 歳以上の方でも、ワクチンを 2 回接種済みの方で【3. 具体的な感染対策に係る対応について】に従っていただければ入館可能とする。**

⑧ その他の対応

- ・昼食中は SD を十分確保する。また、私語を禁止し、黙食を徹底する。なお、昼食時間は設けないうえ、各自試合経過を確認しながら観客席や屋外にて個々で済ませること。
- ・各団体の交通手段の分散を推奨(体調不良者があれば濃厚接触者となり入館・出場不可となる)。
- ・試合中、全コートで Live 配信を行う。
- ・大会当日はメダルの授与のみとし、賞状は後日郵送とする。
- ・予選から決勝までを一度に行い、競技終了後に競技コートにて審判よりメダルを授与する。
- ・競技役員や本部役員の人数を徹底的に減らし、簡易的な運営方法を構築する。
- ・実戦時の面ピット、胴プロテクターは個人持ちとし、同じ団体内でも原則共有禁止とする。止むを得ず共有する場合は、各団体の責任において使用前後のアルコール消毒等を徹底すること。
- ・三密を避けるため、会場内での競技結果の掲示は行わない(ネットの即時アップのみ)。
- ・前日の会場練習はありません。

- ・観客席の消毒は各自で対応して頂く。ただし、アルコールボトルは主催者で用意する。
- ・PCR検査の検査結果は、申込み団体責任者が確認する。また、入館者のGoogle formsを通じた体調確認の際にPCR検査の陰性確認の項目を作成し、報告を必須とする。
- ・マスクの種類については、個人差がため指定は行わない。但し、マスクの代替としてのフェイスシールドの使用は禁止する。
- ・マスクは必要に応じて、適宜交換すること。
- ・ワクチン接種者であっても、必ずPCR検査は実施していただく。
- ・大会中に発熱者などが出た場合に備え、実行委員会が用意した抗原検査キットで検査を行い、陽性の疑いがある場合は開催地付近のPCR検査やLAMP法（ランプ法：簡易PCR検査）での検査が出来る病院を確認しておく。
- ・当日着用する道着は、洗濯済みのきれいな道着を着用するものとし、大会会場で着替えること。（自宅や宿泊先から大会会場への移動中は道着を着用しないこと。）
- ・大会後の打ち上げ、懇親会等は禁止とする。

4. 感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した場合の手順

- ① 有症者が発生した場合、最寄りの審判や運営役員に連絡する。
- ② 連絡を受けた者は、大会実行委員長へその旨を伝達するとともに、有症者を医務員に引き渡す。
- ③ 有症者は会議室等の別室に隔離し、検温や問診を行う。なお、当該隔離室への入室者は最低限にとどめる。
- ④ 有症者に対して、できるだけ早急な帰宅を促す。帰宅準備が整うまで隔離室にて待機させる。
- ⑤ 有症者が帰宅後、隔離室の換気や物品消毒を実施する。

5. PCR検査について

① PCR検査結果確認書の提出

- ・各団体の指導責任者は、出場する全選手について実施したPCR検査結果が全て陰性であることを確認し、添付-1の“PCR検査結果確認書”を提出してください。
- ・PCR検査結果確認書は、日本剣道協会アドレス宛（office@taido.gr.jp）にメールにてご提出ください。（メール送付ができない場合は、日本剣道協会事務局宛にFAX等で送付ください。）提出期限日は令和3年11月19日（金）となります。
- ・検査会社等から受領したPCR検査結果（メールや書面など）については、各団体で保管し、実行委員会から当該結果の提示を求められた場合は、提示できるようにしておいてください。（提示できない場合は、参加を取り消すことがあります。）

② 検査の種類について

- ・検査種類については、PCR検査に限るものと致します。（精度等を鑑み、抗原検査を含むその他の検査での代替は不可と致します。）

③ PCR 検査キット等の紹介

- ・東亜産業(株)製 PCR 検査キット、ネットショップ等で購入可。

<https://www.oroshistadium.com/shopdetail/000000003973/>

- ・木下グループ PCR 団体集配検査、ネットより申込が必要。

<https://covid-kensa.com/group.html>

※単品購入はネットショッピング（Yahoo!ショッピングや楽天）で安く購入できます

④ 検査結果が得られるまでの時間について

- ・感染者数増加に伴い、民間検査会社への検査依頼件数は日々増加傾向です。従って、検査結果が得られるまでの時間は、各社がアナウンスしている標準的な期間を超過する可能性があります。
- ・購入するキットによっては、検体集配サービス等もありますが、事前予約が必要で、繁忙状況によっては、希望する日時に予約できない、あるいは、予約したのに集配が遅れるなどの可能性があります。
- ・上記を考慮し、検査依頼や予約等については、繁忙状況を注視しつつ、余裕をもって計画するようにしてください。

6. 個人情報の取扱い

- ① Google forms への回答などで提供頂く個人情報（氏名や連絡先、体調など）については、データ漏えい、紛失等が無いよう厳正な管理を行なう。
- ② 当該個人情報は、本大会来場者の健康状態把握及び来場可否判断など、コロナウイルス感染予防対策に係る目的のみに利用し、個人情報保護法の法令において認められた場合を除き、本人同意を得ず第三者に提供しない。（ただし、大会会場にて感染者又はその疑いのある者が発見された場合、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。）
- ③ 取得した個人情報は、大会終了後少なくとも 1 か月以上保管します。
- ④ 保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに破棄します。

－ 以 上 －